

質問：心臓の音はドクドクというイメージがありますが、本当にドクドクという音なのですか。どのような時に音が鳴るのですか。

確かに心臓の音はよくドクドクと表現されますが、実際の聞こえる音を言葉で表現すると、人によってそれぞれ違うと思います。心臓から聞こえてくる音は、心臓にある「弁」が閉じる時の音です。この音を心音と言います。

私達の心臓の中には、心臓から送り出される血液が、決まった方向に流れるように、弁と呼ばれる扉のようなものがあり、弁は開いたり閉じたりしています。この弁が閉じる時に音がします。

ドアを強く閉めた時にボタンと音がしますね。心音はこれと同じ原理です。心音は通常大きく分けて二つの音から成り立っています。心臓の弁は全部で四つあり、二つずつ一緒に開閉します。四つの弁のうち二つの弁と一緒に閉まる時、「ド」のように聞こえ、続いて残りの二つの弁と一緒に閉まる時、「ク」のように聞こえます。合わせて、ドク、ドクと規則的な音が聞こえてきます。

ところが、この正常な心臓から聞こえる音以外に、心臓から異常な音が聞こえる場合があります。この音を心雑音と言います。この場合には、心臓の病気が隠れている可能性があります。

狭いところを、空気や水が通ると音が聞こえますよね。例えばドアのすきまから風が入ってくると、ヒューヒューと音がしますし、ホースの先端を強く押さえて水道から水を出すと、シューッと音がします。同じように、血液が狭いところを通る場合も音が出ます。例えば、心臓の弁に異常があり、心臓の弁が十分開かない場合、また完全に閉じない場合、血液が通常より狭いところを通ることになり、異常な音が聞こえてきます。

また、心臓を左右に分けている筋肉の壁に異常な穴が空いている場合にも、この穴を通るときに音が聞こえます。心雑音が聞こえて、心臓の病気を疑った場合は検査をします。また、心音がドク、ドクのように規則的ではなく、乱れている場合は、不整脈という病気を疑います。